

看護部通信

#IOSPY

2015.11.1発行 第45号

ホスピタグループ腎透析事業部看護部

CKD・透析患者の事例検討会

今回、看護の実践を振り返り、慢性疾患看護の視点で患者・家族をアセスメントし、介入方法を検討する目的でスーパーバイザーの杉田和代先生(東京有明医療大学看護学部看護学科・成人看護学・慢性疾患看護専門看護師)をお招きし、事例検討会を行いました。

2015年6月12日(金)十全クリニック

＜参加者＞:看護師・MSW・管理栄養士・外部担当ケアマネージャー

アルコール依存症があり、血糖・体重管理困難な患者への介入方法の検討

事例紹介:40歳代男性。ネフローゼ腎不全により、2014年12月透析導入となった。以前アルコール依存症で受診し、禁酒を継続していたが、退職により会社の家を出て福祉マンションに転居してから、アルコールを購入し飲酒するようになった。体重増加2日あきで7.4%、グリコアルブミン30~40%とコントロール不良

事例検討会の様子

スーパーバイザーから

患者の思いを引き出し、アルコール依存症の病態を理解し、患者が自立できるよう支援していくなどのアドバイスを受け、今後の介入の方向性が見い出せた。

情報共有

患者の思いを聴き、症例をみる視点でアセスメントし、今後の介入法をディスカッションした。



2015年8月6日(金)新生会第一病院 血液浄化センター

＜参加者＞看護師・MSW・管理栄養士・言語聴覚療法士
外部担当ケアマネージャー・施設長

認知症の妻を介護する通院透析患者と家族への支援

事例紹介:70歳代男性。認知レベルが低下(長谷川式20点)認知症、うつ症状の妻と2人暮らし。主な介護者は娘。

事例検討会の様子

スーパーバイザーから

天候不良で参加していただけなかったのですが、事前に杉田先生より助言をいただきました。患者・家族が今後どのようにしたいのか?意思の確認。何故そのような問題が起こったのかを明確にするなどの助言を頂き情報の共有化を図りました。

まだ子供の学費などが予想される中「娘が仕事をやめている」ので、介護によるプラス面マイナス面の影響を考え、介護うつに注意する。家族アセスメントとして、家族の発達段階、家族構成、家族機能として家族のコーピングなどを行う。

事例提供者・参加した看護師の感想

外部担当ケアマネージャーが参加され、知らなかった家族の情報が聞けて良かった。多職種のスタッフからの意見は透析室だけでは得られないこともあり、意見交換を今後も続けて情報の共有を行っていくと良いと思った。情報を共有することで今後の方向性が明確となって良かった。家族アセスメントの重要性を学んだ。いろいろな人の支えの中で患者は通院透析が維持・継続できていると思った。

＜今後の方向性＞

- ・キーパーソンである娘に対するフォロー・休息できる時間の提供(介護うつの危険性あり)
- ・患者が通院透析を維持・継続できるように環境を整える
- ・息子との連絡を取り、家族で話し合い共有できる時間を設ける

＜担当ケアマネジャー＞

認知症の妻の様子
娘の不安
妻の妹の情報

情報共有

＜当院スタッフ＞

長谷川式スケールの結果
透析中の様子
内服などのセルフケア状況
身体状況

認知症のある高齢CKD患者の看護と家族への支援を考える

事例紹介:80歳代女性。高血圧と慢性腎不全で通院中、要介護2で認知症あり。週1回のデイサービスと一泊のショートステイを利用。腎機能悪化で主治医より今後の治療の話があったが、現在は透析治療は家族の意向で「保留」の状態。しかし今後揺れ動く可能性が大きい。患者本人への今後の治療に対する意思確認は困難な状態である。今後、患者及び家族への関わりをどうしたら良いか。

事例検討会の様子



スーパーバイザーから

今後の治療については、患者本人の意思決定であり家族の考えではない。認知症だから決定できないと決めつけずに今後の残された人生をどう生きたいのか？患者の行動、言動、表情を多方面から見てほしい。何かしら発信しているはず！家族へは元気な頃のお母さんの健康観を聞き、家族がお母さんの考えを推測して今後の人生について答えられるように聞いていく。患者家族の治療決定の揺れに付き合うのも支援、この人にとっての最善をチームで支えていくこと。以上、目が覚めるようなアドバイスを頂きました。今後の外来看護介入に役立てていきたいと思ひます。

<今後の方向性>

今後の治療について家族だけでなく患者本人の考え、思ひを聞く。今後の治療、透析やCKD病態症状について正しい情報、知識を提供するなどの意見あり。

情報共有

外部担当ケアマネージャーにデイサービスでの患者の状況を聞くことができた。

第18回日本腎不全看護学会学術集会・総会 In名古屋

2015年11月14日(土)・15日(日)2日間に渡り名古屋国際会議場で開催されます。ホスピタグループ腎透析事業部看護部は口演(O)4題、ポスター(P)8題、交流集会1題、合計13題の発表を致します。

	演題	発表者	施設
11月14日(土)	O CKDステージ5にある超高齢患者への外来看護師の関わり	茶円 美保	外来
	O 高齢透析患者家族への支援—家族教室と家族交流会を開催して—	春田陽子	金山クリニック
	O 末期心臓病を抱えた通院透析患者の関わりを振り返って	田中 希	金山クリニック
	P 透析導入後通院透析を開始する患者の家族への退院支援	各務光則	3F病棟
	P 看護 助者が な い方法を継続できるための支援	小 め み	東 クリニック
11月15日(日)	O ーバーナイト Dを実施して 生 が 化した 事例から	門 子	透析教 センター
	p 認知症の妻を介護する通院透析患者と家族への支援	田中	化センター
	p 透析患者の自 に した看護師の体 の語り 語りを聞いた看護師の気 きと学	村 代	クリニック
	p DLNチームによる看護実践 動の報 向上への取り み	良	クリニック
	p 透析導入期の 発達なシャントに 要な 管観 の一考		クリニック
	p 維持透析を見 る決 をした超高齢透析患者とその家族への関わり	田 子	東 クリニック
	p 来院 ・透析中 を り返す 疾患患者への関わり— リンナースから学んだ看護—	内美	金山クリニック

11月14日(土) 交流集会

サイコネフ ジー看護「透析患者の自 に 体 した看護師の語り」聴いて、語り合い、気 く

ピアナース「あおい 」 岡山ミサ子 今 子 京子 美 村 代 知子



ケアスタッフ紹介



看護補助業務やクラーク業務をしているスタッフを、各施設の師長が紹介します。

2F病棟



が な名のケアスタッフが、日 間
わず、患者様のケアに しています！
(師長代理:今 子)

3F病棟



に明るく を やさず仕事に んでいます。
その で患者さんは元気になっています。
(師長: 田はるみ)

医療法人新生会

血液浄化センター



入院・ 時透析などがあり、 な対 になる
ことが多いですが、明るく取り んでもらっている
事で支えられています。(師長: 村美)

※外来・ 室にはいません

十全クリニック



看護業務がスムー に行われるよう看護師をサポートし、
医療チームの一人として患者さんを支援し、
日 の りに感 しています。(師長: 村代)

金山クリニック



いつも明るく しく患者さんた を介助する は
本当に いです。これからもよろしくお いします。
(師長:山内要)

東海クリニック・東海知多クリニック



テランのスタッフなので患者さんの対 も安心
して依 出来ます。いつもありがとう います。
(師長: 子)

名古屋記念財団

平針記念クリニック



子 や 行の介助がいる患者さんが え
る中、看護師と共に っています。
(師長: 子)

鳴海クリニック



チー ムークがとてもよく、お の休 時間にみ
んなで和気あいあいと しそうに会話をされてい
るのが、とても 的です。(師長:関川美知)